

第5回神田警察通り沿道整備推進協議会 議事要旨

■日 時：平成25年7月23日（火）18：30～20：00

■会 場：千代田区役所4階 研修室A・B

■出席者：

〔委員〕

●●会長・●●副会長

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

山口委員（まちづくり推進部長）

笛木委員（道路公園課長）・坂田委員（景観・都市計画課長）

加島委員（神田地域特命担当課長）

〔委員代理〕

●●氏（●●委員代理）、●●氏（●●委員代理）

〔オブザーバー〕

警視庁神田警察署 高梨交通課長

警視庁万世橋警察署 伊藤交通課長

安田不動産（株）・住友商事（株）・（株）大林組

〔事務局〕

神田地域まちづくり課・UR都市機構

1. 開会

2. 議事

（1）今後の検討体制について

資料1、資料2について事務局より説明

議会の委員として、内神田鎌倉町会へお声掛けすることを提案

【委員】

●既に参加している委員で内神田鎌倉町会の役員の方がいる。その方で良いのではないか。

【事務局】

●その方には●●として参加していただいている。皆様がよろしければ内神田鎌倉町会にお声掛けする。既に参加いただいている委員に●●と内神田鎌倉町会を兼ねていただいても良いし、別の方に入っていただいても良い。ご提案した体制について決めていただきたい。

【会長】

- 異論がなければ、内神田鎌倉町会を範囲に入れて今後検討していく。

(2) エリアマネジメントについて

資料3-1～3-4についてUR都市機構より説明

【会長】

- 「エリアマネジメント」は和製英語であり、同じ千代田区の大丸有協議会が「エリアマネジメント」という言葉を使い始めた。大丸有のほとんどは三菱地所が地主であり、神田とは性質が異なるが、都心であることも含めて、地域の管理・運営を地元で主体的にやっていくということは同じスタンスのまちづくりであると思う。
- まちづくりの中で神田警察署が他へ移る可能性もある。「神田警察通り」の名称を変えた方が良いのではないか。「警察通り」という呼び名が重たいので、名前をどうするかは別途考えた方が良いと思う。他の都市では、市民から公募したり、学生に意見を出させたりしている例もある。名称を決める際は、行政は力を使わないといけない。
- エリアマネジメントは、非常に个性的で固有のもの。今回検討する区域も、個性に基づいたエリアマネジメントを作り上げていく必要がある。
- 「エリアマネジメント」という表現ではなくても、様々な地域でエリアマネジメントと同様の取組みが行われている。そうした取組みを今回のエリアマネジメント検討範囲で行っていくために、現在の12町会で全体をカバーして、1つのエリアマネジメントを行う組織が必要である。町会によって温度差があると思うが、進めていくうちに一つのまとまりになっていくのではないか。
- 御茶ノ水、秋葉原、神保町でも、都心の活性化のような動きになっている。経緯や意図は違うが、共通しているのは、まちなかをもっと活性化して、職、住、その他いろいろなものを混在化した活力あるまちを目指していこうということである。
- 夜になると神田警察通り沿いは本当に寂しくなり、この場所にふさわしくない状態である。それをぜひ変えていこうというのが、まちづくりの狙いだと思う。
- 神田警察通りは、延長1.2km、区道で幅員22mの非常に特異な道路であるが、一つの線で考える必要はない。いろいろな活動や人の流れ、建築更新といった、神田警察通りと直交するアクティビティの軸線を通じてまちが変わっていく可能性が高い。
- 既に再生の動きが進んでいる秋葉原や、いろいろな動きがある日本橋エリアとのつながりも実現していく必要がある。

【事務局】

- まだエリアマネジメントで具体的に何をやるのかは決まっていない。本日出席いただいている住友商事、安田不動産、大林組に積極的に力を発揮していただき、何ができれば継

続的なエリアマネジメントにつながっていくのか部会等で検討していく。その結果をまとめて、次回の協議会でお諮りしたい。

- 会長から神田警察通りの名称変更の話があったが、変更するにはいろいろと手続き等が必要になる。まずは、地域の方々がどのように考えているのか、ご意見があればいただきたい。

【委員】

- この協議会ではまちづくりについて協議しているが、防災に関してもイベントに関しても区には担当部署があるため、担当部署の考え方も踏まえた検討が必要である。例えば、千代田区には4つの東京防災隣組があり、神田駅界隈は秋葉原へ誘導されるが、我々は丸有の人に相談している上、丸有の方が近い。そうした中で、なぜ神田だけ独立させてくれないのかという話を常にしている。そうしたことをすべて含めて考えなければ、まちづくりだけを考えていては、できた後に困るのではないか。

【事務局】

- まちづくりということで、今は道路整備や拠点開発の話が中心となっているが、そこに住んで人が集うことになると、防災は非常に重要である。エリアマネジメントの中で、賑わいだけでなく、有事の際の対応等についての検討もできると思う。

【まちづくり推進部長】

- 道路整備や拠点整備など、まちをつくる話はイメージしやすいが、まちはつくるだけではなく、その後どのようにまちを活かしていくかが大切である。その一つとして、まちの維持・管理から、賑わい創出のための取組みを行っていくが、結果に直結するのは難しく、時間をかけて徐々に取組みがまちに吸収されていき、それが自然な形で出てくる。
- 大手町・丸の内・有楽町の丸の内仲通りは、何十年か前には銀行が多く、平日は3時以降になると全部閉まるし、土日は開いていないという状況で、土日は人が来なかった。そこを、いろいろな人が来て集える空間を作っていこうと、仲通りを中心に街路を整備し、沿道にいろいろな店舗が入り、さらにそこをいつもきれいな状況にしようとする取組みを行ってきている。さらに、「ミレナリオ」や「古都東京」等のイベントや取組みを行いながら、いろいろな人が来て快適に過ごせるような取組みを長い時間をかけて行っている。
- 今回、神田警察通りを主眼として整備していくことについて、私は職員に「これは道路整備ではなく街路整備だ」と常々言っている。道路の整備に合わせて、それぞれの街並みもできていく。ただし、街並みが出来上がるだけではなく、しっかりとパブリックスペースやプライベートスペースと連携し、常にきれいな状況を保っていかなければならない。そのような状況を繰り返したり、拠点となる場所を活用したりしながら賑わいの仕掛けづ

くりをしていく。今日だけで理解していただくのではなく、何回か専門家に事例等もご提案いただきながら進めていく。

- 防災の観点は非常に大切である。神田でも取組みを進める力が付いてくれば、区としてもサポートしていける。そのためには、地域がまとまって取り組んでいくことが必要である。それは、大手町や秋葉原へ行かなくても、しっかりと防災に関する取組みをしていくということであり、道路や拠点の空間を活用して、有事に対するいろいろな備えを行い、平常時は常に誰もが快適に歩ける、楽しめる、滞留できるような仕組みにしていくことである。
- 1.2km は非常に長いため、これをまとめていくというのは一つのチャレンジだと思っている。区内でも東西に連なる、影響範囲も広い地域があることから、それぞれの町会やエリアの活力にもつながっていくと思う。

【委員】

- 資料は商売の方に向けた内容である。道路を整備するという話がはじまりだった。前々回の協議会で道路整備のイメージ映像があったが、途中までしかできておらず、神田駅の方へ向かっていく映像がなかった。それはどうなっているのか。
- 道路をきれいにすることが私の第一の願望である。丸の内は、実際はビルが古いままであり、何年も前から丸の内仲通りだけきれいにしてある。最初に整備したのは道路であり、それから店舗のほうへ進んでいった。区役所は、神田警察通りをきれいにしようという気持ちはあるのか。やる気があるのか。

【まちづくり推進部長】

- これは「やる気がある」ということである。神田警察通りは、平成 26 年から平成 28 年にかけて整備していくことになっている。前年度は基本設計、今年度は実施設計として、区の予算に計上して進めていくことになっている。

【委員】

- 前々回の協議会で、神田警察通り整備のイメージ映像があった。なぜ神田駅までのイメージも作らないのか。神田警察通りは歩道が狭くて車道が広い、そしてあまりきれいではない。まずは道路を整備して、その後にこういうものをイメージ的につくっていかうというのが、基本ではないか。

【事務局】

- 道路整備は来年度から工事に取り掛かっていく予定である。本日、整備の計画を提示したかったが、警視庁と協議中であり、皆様に提示する段階にはいかなかった。
- イメージ映像は事務局で作成したものではない。博報堂の建て替えが完了する頃に道路整備の最初の区間が完了することから、住友商事が作成した博報堂建て替え完了のコン

ピュータグラフィックスに神田警察通りの整備後のイメージを表現してもらった。相当な費用がかかっていると聞いているが、皆様にイメージを持っていただいたほうが良いということでご提示した。今後はエリマネで各事業者とも話をするため、実際に神田駅までのイメージ映像を作れるかはわからないが、本日も意見をいただいたので検討はしていきたい。

【委員】

- 内神田美土代町の交差点から神田駅北口までの道路は、神田警察のほうに比べて道路そのものが狭いのではないかと。歩道が狭いということだけか。

【事務局】

- 歩道は、場所により 2.5m や 2m のところがある。

【委員】

- 神田警察通りは、神田駅のガードを越えると 2 車線になってしまう。今、JR が神田駅の工事をしているが、ガードの桁を工事する計画にはなっていないため、結果的に 2 車線のままになる。
- 歩道が狭いという問題については、広いものに統一してもらわなければ、今は車椅子の問題が出てきている。まずは道路のことから進めてもらいたい。

【事務局】

- 本日は図を提示できず申し訳ない。神田警察通りの整備は、歩道を拡幅して歩きやすくすることが一番の目的であり、それにプラスして自転車道や植栽帯を整備する。そのために、現状は 4 車線でパーキングが両脇にあるが、パーキングを廃止して 3 車線にして、歩道や自転車道を広げる。次回協議会で図を提示する。

【委員】

- 遅いのではないかと。道路に関しては以前から言っているにもかかわらず、計画がなかなか出てこない。神田警察通りをきれいにした後、エリマネジメントをつくって取り組みましょう、というのがはじまりではなかったのか。

【まちづくり推進部長】

- 道路を整備していくことは決まっており、進めている。今度は次の段階を考えていこうとしている。
- 神田警察通りは幅員 22m の一方通行の道路だが、歩道は狭く、街路樹は大きくなってしまっており、歩きにくい。その上、自転車問題も出てきたことから、長い間皆様と議論

して、工事をすることが決まった。工事をするために、担当部署では地下埋設物の調整や警視庁との調整など作業を進めている。お叱りはお叱りとして受けて、しっかりと進めていきたい。

【委員】

- 多町大通りが7年程かけてようやく完成し、今度は一八通りをきれいにするためにまた時間がかかっている。道路がきれいになるのならそのほうが良いということで、うちの町会も住民の皆さんも我慢している。今では、多町大通りは本当にきれいになり、広がって、人が通っている。ただ、私はイメージ的にガードレールが気に入らない。区役所には「現代的なガードレールではない」と伝えた。あれだけきれいになったのに、鉄の棒でつくることには反対した。

【まちづくり推進部長】

- 神田警察通りは、区道の中でもこんなに幅員が広いところがない。しっかり歩道も広げながら、初めて自転車道もつくっていく大きなチャレンジになっている。しっかり進めていきたい。

【委員】

- 早く整備してほしい。

【委員】

- 神田警察通りは、現実には自動車が減ってガラガラに空いている時もあり、そういうことを含めて整備をするということだと思うが、その中になぜエリアマネジメントという考えが導入されなければいけないのかが分からない。図を見るとゾーン分けがされているが、地区によって全部性格が異なる。多町一丁目であれば中神田中央地区の地区計画と密接に絡み合うような具体的な内容が提案されなければ、なぜエリアマネジメントの話が出てくるのか理解できない。

【事務局】

- 今回の資料も、具体的な取組みや、神田警察通りで取り組むことによってどうなるのかというものが見えないものになっている。そうしたことも含めて、エリアを3つのゾーンに分けてガイドラインなどを作成しているので、次回にはもう少し分かりやすい形で、エリアマネジメントの必要性などをご説明したい。
- 地区計画については後ほど若干説明させていただく。

【委員】

- エリアマネジメントに期待することは、安全・安心、防犯、防災、環境衛生、美化、緑化、清掃などは当たり前のことであり、ぜひとも町会と企業が連動したような受け皿になってもらいたい。そして、「この町は安全だ。有事の際はこういうふうに誘導してくれる。」というような来訪者が安心して来られる仕組みづくりを見える化してほしい。これがベースにならないまちは、何をやっても多分来訪者は来ない。エリアマネジメントの基本としてやってもらいたい。
- 神田警察通りの基本コンセプトは「車から人へ」、また「無機質な道を楽しむ」ということなので、この道が近隣地区の情報発信拠点になってほしい。例えば、神田駅西口でやっている江戸古町祭り、小川町のスポーツ祭り、雪だるま祭り、古本祭り、すずらん祭り等多々あるが、この通りを行けばそこで何をやっているのかが分かる、連動している、もしくは誘導してくれるような道になってほしい。例えば、神田駅周辺で何かやっているときには、端っこの雉子橋でも情報発信されていて、分かる、見える、というようなことが必要だと思う。
- 環境的にも、健康的にも訴える道だと思うので、環境イベント、健康イベント、もしくは防災イベント等、お祭りも含めて、全体的な道路でのイベントというものが考えられると思う。
- 丸の内仲通りの歩道は民地なので、いろいろ造作できるという話を聞いた。神田警察通りは区道であるが、通常時もアートイベントなり、何かの催し物が歩道で仕掛けられるような方策を考えてほしい。フラッグなどは当たり前として、歩道に置けるようなものやイベントを公開空地含めた神田警察通りのあらゆるところでやってもらえたら良いと思う。

【事務局】

- 分科会で討議していきたい。参考にさせていただく。
- 国土交通省でも道路に対して少し緩和をしてきており、新宿区等で道路にカフェやベンチを置いているのも事実である。ただし、事業主体がしっかりしていなければできないため、エリアマネジメント組織が立ち上がってしっかりしたものになれば、そのような取り組みも可能になると思う。

(3) 神田警察通り沿道の地区計画について

資料4について事務局より説明

【会長】

- 地区計画の策定期限を記載すべきである。現実には建築更新が全然起きていなければ、仮定しただけの話で、何のまちづくりにもなっていないということになる。そうすると、地区計画そのものよりも、誘導するための別の方法も考えなければいけない。地区計画を立てたときの狙いが本当に狙いどおりに進んでいるのかどうか、今がチェックする時期として時間が十分過ぎているのかどうか分からない。

【事務局】

- 承知した。

【会長】

- 神田というまちは、いろいろな意味で非常にまちが変わりにくい条件を持っている。一番大きい理由が、関東大震災で区画整理をしており、非常に細かい町割で、街路が狭い。街区の中は正形になっているが、細かくなっているため、非常にまちが自律的に変わりにくい。そうした条件を抱えてしまっているため、通常のセンスで地区計画を策定してもまちが動きづらいのではないかと。
- まちでもっと建築更新が起きるように、容積の緩和にプラスして、千代田区独自の建築更新を誘導するボーナスのようなものも考えないと、神田は特に歴史的に変わりにくい構造を持っているまちだと思う。
- 地区計画をかけて、こういうふうにまちを変えたいという狙いで進んでいるが、どこかの時点であまり現地が動いていなければ、動くように別の方法を考えなければいけないかもしれない。当面、電大の辺りは動くので、それが一つのきっかけになってまち全体にポジティブなものが出てくれば良いと思うが、結構厳しい条件を抱えたまちだと思う。立地は良いが、動きにくい条件を感じる。

3. その他

【委員】

- 賑わい創出という観点で、神田警察通りのコンセプトである「車から人、自転車へ」や緑化を進める流れの中で、それを後押しするような、この道のコンセプトに合った拠点やショップを積極的に誘致して助成金を出すなど、この道をボトムアップするような拠点やショップがいろいろなところがあり、この道は環境にもやさしく、防災・防犯に強く、健康も増進しているというような、全体的にボトムアップするようなものが見えてくると非常に良いと思う。

【委員】

- 神田のまちの中をぶらぶら歩くような道が、今はなくなってしまっている。靖国通りの商店街でも、みんなバタバタと買い物に来ている。そうではなく、神田のど真ん中に1.2kmのきれいな道ができて、遊歩道的な形で散策できるような道に仕上げれば、丸の内から昼食を食べに来る人たちが集い、終わった後にぶらぶら歩けるような明るい道路になれば、自然と人が来るのではないかと。それに合わせて、人が住む住宅街を道路側につくらないといけない。このまちに住んで、そこで商売ができるようになれば、人が住める良

いまちになると思う。

- 思い切ってもものすごく良い道路を作ってもらえれば、他から人が寄ってきてくれる気がする。費用が3倍ぐらいかかったとしても、後で直すよりもそのほうが良いのではないか。私たちが子どもの頃は、今のように車で危険なまちではなかったのが、縁日に行って夜店でぶらぶらしていたが、今はそのようなことができるまちではなくなってしまっている。1.2km をぶらぶら通れるような道路になれば素晴らしいのではないか。今は本当にせこせこしていて、用があるから買い出しに来るような人通りのため、もったいない。

【事務局】

- 道路整備というきっかけがあるので、それに対する可能性がいろいろあるのだと思う。区としては、ここで「何倍もお金をかけます」ということは言えないが、事業者とも知恵を出し合いながら、神田警察通りとその周辺のまちの整備を進めていきたい。

【会長】

- 今の地区計画は住宅を誘導するようになっているが、地区計画の効果で住宅が本当に増えているのか、住民が増えているのか。うまくはいっていないと思う。
- 外部から見て、神田は非常に魅力のある場所である。住んでいる人を増やすということは、他の自治体も取り組んでいるが、なかなか難しい。難しいことなのに、地区計画だけ掲げて終わりでは、都市計画そのものが何の意味があるのか。弾力的な対応が必要である。

4. 閉会

【事務局】

- 今後は、検討分科会においてエリマネの検討や、今日いただいた意見の整理を行う。
- 次回協議会は年明けに開催したい。